忘年山行：葛城山報告（2019 年 12 月 07 日～08 日）

忘年山行の日程は例年 12 月第 2 週末に決まっており、場所だけ決めればよい。今年は早々に「伊豆長岡：葛城山」に決定した。最終的に参加者は伊藤（L）、天野、荻野、神田（玲）、後藤、中島、早坂（8 日参加）、三浦様達と陽田の総勢 9 名になった。

7 日の計画では、八重坂峠を出発し、徳倉山→鷲頭山→多比口峠までの「沼津アルプス」を歩くという山行計画があり、伊藤、天野、後藤、中島、三浦の各氏が参加する。一方ハイキング組は「伊豆長岡：歴史探索」と称して、「韮山反射炉と江川太郎左衛門邸」を見学しようというものであった。そして 16 時頃に宿舎：「KKR 千歳荘」で合流する。各々計画はよかったのだが実際は？

気象情報によると 8 日は晴れだが、7 日は雨の予報である。リーダー伊藤さん、ぎりぎりまで粘ったが結局「天候不順のため山行中止」という決断をされた。こちらハイキング組も雨の中を歩くのはどうかと中止にした。どうも“晴れ男”“晴れ女”のご参加が無かったためだろうか。

しかしながら、小生は折角伊豆長岡まで行くのだし、他にやることもないので、雨を覚悟で「伊豆長岡：歴史探索」を実行することにした。一方、三浦さんも「韮山反射炉」を見に行かれるとのことであった。小生は当初の計画より 1 時間遅らせて 12 時に伊豆長岡駅に着き、12 時 40 分発のバス「歴バスのるーら」号を待っていたら、天野さんが現れた。三浦さん中島さんと合流するらしい。ところが、小田急線で事故があって遅れるという。当方はお待ちすると予定が狂ってしまうので、申し訳ないが予定のバスに乗って、韮山反射炉、旧江川邸を回った。一方三浦組は一バス遅れで回ってきたため、三浦さん達が降りたバスに小生が乗継いで次へ進むことになった。

予定の 15 時に伊豆長岡駅に着いてみると、後藤さんがお待ちかねである。やはり伊藤さんと他の女性陣は小田急線の遅れの影響で、約 20 分ほど遅れてご到着になった。早速 KKR 千歳荘に連絡を取り、お迎えの車に来てもらった。15 時半ころ宿に到着し、予め部屋数が分かっていたので、“呑兵衛組”“ご婦人組”その他と分れ、入浴後部屋で後続組を待った。

三浦さん達は約 30 分後にご到着になったので、早速本年最後の例会を実施すべく、部屋に行ってみると既に、アルコール飲物などが広がっていた。兎に角喉を潤さないと話にならないということだ。それでも夕食前にすこしでも議題を進めておこうと始める。伊藤さんがしっかりした資料をご準備いただいたので、それにより話が展開する。「本年は前半は好調に山行を実施したが、後半は若干息切れしたせいか、少し回数が減った」「8 月～11 月は雨が多かった、特に週末の天候が悪く、台風 15 号、19 号などによる水害の影響が大きかった」など。一応 11 月までの山行の報告（個人山行を含め）を終わって、夕食の為に中断した。

夕食後は 19 時半頃から再開された。三浦さん、石井さんからのご提案を加味して、伊藤さんが作成した資料が予め全員に配布されていたので、23 時頃まで討議は活発に行われた。まづ来年 1 月は伊藤さんの提案通り、初旬に「千葉の水仙」を見に、下旬に「弘法山」の“新年山行”を決めた。

次いで宿泊を伴う大形山行から議論された。6 月の「大人の休日倶楽部」利用の山行では、できるだけ遠くへ行こうと東北地方、「八幡平」とか「秋田駒」などが挙がったが、秋田駒はこれまで数回行っているので「八幡平」に、夏の山行ではやはり北アルプス、「燕岳→常念」へ 7 月下旬～8 月上旬に実施しようと決まった。忘年山行では千葉方面が提案されたが、中島さんが会社の寮が「伊豆高原」にあり、社員（中島さん）がいれば幾人でも OK ということなので、ここに決まった。詳細はゆっくり検討すればよい。中島さん「尾瀬に行きたい、時期は 6 月と 8 月は確定しているので、9 月にしたい」と。となると「尾瀬の草紅葉」を見に行くことになる。

“島嶼の山”ということで、「神津島：天上山」に行こうとなり、経験者の池田にお願いしようと。天野さんが何度も言っていた「北岳」はご賛同が得られず今回も“ボツ”、天野さんは来年別 Gr で行くと。「上高地のスノーハイク」は希望者も居られたようだが、2～3 月初頃に実現するかどうか。その他いろいろ日帰り山行の案もでたが、これらはその時期近くに具体化していくことになった。

翌 8 日は“ピーカン”の快晴。8 時からの朝食を摂り、9 時にホテル前に集合した。丁度宿の車が用を終えて帰ってきたので、伊藤さんがそれとなく「これから伊豆の国ロープウェーに行く」と言って水を向けたが、運転手さんさっぱり乗ってこない。「まっすぐ行ってコンビニの前を曲がれば 20 分くらいで着くよ」と言われて、結局歩くことになった。約 25 分掛って乗り場に着くと、既に早坂さんは到着していた。

このロープウェー（全長 1.8km）は 6 人乗りの“キャビンタイプ”で、人は少なく直ぐに乗れた。約 8 分の空中散歩だ、上へ登ってゆくと後方に真っ白の富士山が見えてきた。頂上のテラスからは正にでんと聳えた大きな富士山が見える。今日は雲が全くない快晴なので一段と青空に映える。早速記念の証拠写真を撮ってから 5m ほど上の「葛城山頂上（海抜：452m）」／葛城神社に向かう。ここには“二等三角点”と源頼朝像があった。ここでも暫く写真を撮った後、いよいよ下りにかかる。

すぐ下に「百体地蔵」があった。山の形からも容易に推察できたが、この下り道けっこうきつい。伊藤さんがロープウェーの切符売り場で、片道切符を買おうとしたら、「葛城山も発端丈山の下りもかなりきびしい」と教えてくれたそうだ。「危険！」と名札のぶら下がった「猪・鹿除け」の電線を跨いで、いよいよ急な下りの山道に入る。落ち葉が積もっていて、雨後で濡れていて、しかも浮石が隠れている。とにかく気が抜けない。じぐざぐに約 30 分下って、平端な“林道”に出てほっとした。約 30 分歩くと林道と別れて急な登りの山道への分岐に出た。これからが「発端丈山」への登りである。

ところが、皆さん（全員ではありませんが）急に「林道を下りましょう」ということになってしまった。またもや「下山クラブ」である。いや、「臨機応変」と言ってほしいです。長瀬川沿いの林道だが、荒れていていたる所路面を川水が流れている。まるで浅い川歩きのようだ。途中、野イチゴの実を見つけて、腹下しを気にしながら食べた。約 30 分で「長瀬バス停」に着いた、ところがこのバスは 1 時間に 1 本で、12 時 7 分まで約 30 分待たねばならなかったが、まあ仕方がない。

12 時 30 分に伊豆長岡駅前に着いた、さあ昼食兼反省会の会場を探すが、お店はみな夕方にならね

ば開店しない。それでは三島まで行こうとしたら、丁度電車が出発してしまい、またもや 30 分待つはめになった。三島駅前には流石に沢山の居酒屋・食堂があるが、やはり夕方開店だ。開いているラーメン屋は狭く落着けない、また古ぼけた建物の裏の方の店は“うす汚い”というか何となく入る気持にならず、結局“食べ放題“の焼肉屋になった。ここは”制限時間有り“で 1 時間きっかり。”注文は 45 分まで“ということだ。さあお肉が来ました、時間と競争なので、皆さん口を動かしますが、声はでません。黙々と食べるのみ。とても反省会にはなりませんでした。否、昨晩遅くまでしっかり討議したので、今日はもうよいのです。食事を楽しみましょう。

14 時 59 分発の電車で熱海へ向かう。スイカ・パスモで三島駅では入場できたが、小田原駅で出場できず赤ランプでアウト。熱海から西は「JR 東海」の領域であることは分かっていたが、「入るのは OK で、出るのは駄目とは如何なものか」と思ってしまった。兎に角車内で流れ解散となった。

今年の忘年山行では、初日が天候不順で予定の計画が狂ってしまったが、それでも忘年の温泉旅行をしたと考えれば満足できるであろう。（勿論小生は当初予定をクリアーしたので、不満はないが。）また、本年最後の反省会ではしっかりと議論できたことは喜ばしい限りである。来年も皆さんとご一緒に「あの山行は良かった」という行事が計画されて、実施してゆきたいものである。

以上　　陽田

葛城山頂上から望む富士山